

大規模災害時行動マニュアル

～透析施設編～

【災害時にとる行動】

1. 通院している透析患者の情報収集
2. LINEで地域コーディネーターへ連絡（被害状況など）
3. 日本透析医学会災害時情報ネットワークへ入力
4. 災害用伝言ダイヤル171への録音（通院している患者への情報提供、指示など）

【平常時に準備しておくこと】

- 患者情報の定期的な確認及び更新を行う。
 - ・連絡先（緊急連絡先）
 - ・透析患者連絡カード
 - ・スモールカルテ
 - ・患者ADL（自力歩行、杖歩行、車いす移動）
- 他施設での治療を想定して、速やかに準備できる体制を作っておく。
 - ・持ち出し物（患者透析条件、他施設に在庫がないと思われる薬剤及び材料、その他）
- 訓練を実施する。
 - ・透析中の災害を想定した避難訓練、緊急離脱訓練
 - ・患者へ被災状況等を伝える場合の情報伝達訓練（LINE、災害用伝言ダイヤル171）
 - ・大規模災害時のシナリオ想定訓練

【災害時の注意点】

- まずは、職員の安全を確保することが重要である。
- 可能な限り、通院している透析患者の情報を収集する。
- 透析継続の可否などを各地区の災害コーディネーターへLINE連絡する。
（透析の可否、支援透析必要な患者の人数）
- 日本透析医会災害時情報ネットワークへ入力する。